



休み方改革



2019 県教組定期大会より

2019年6月22日、県教育会館で第108回青森県教職員組合定期大会が開かれ、活発な討論が展開されました。一部掲載します。

《石田全教書記次長挨拶》

4月から先生ふやそうキャンペーンに取り組んでいる。日本の教員の勤務時間はOECD平均の1.5倍で最長になっている。長時間労働をなくすには先生の数を増やすこと、競争と管理のための余計な仕事をなくすことが必要。持ち時間教の上限設定と、少人数学級のための教職員定数の抜本的改正が必要。教職意識改革や勤務時間の上限

の教職離れも深刻。その中で「先生ふやそうキャンペーン」を立ち上げたことは大きな意味がある。一人のコメントを紹介する。「教員採用試験に合格しこの春から夢を膨らませて教員になりました。一月働きましたが、はまりり言って異常です。残業せざるを得ない仕事量を任されている。雑務等の仕事量が多いせいで授業や学級をより良くしようとする試み、子ども一人ひとりのことを考えている時間が全く取れません。本当に悲

2019年9月3日 県教組南地方支部 TEL 53-3273 編集責任者 長内尚明

ガイドラインの設定、1年単位の変形労働制の導入では全く解決しないことが実感されていると思う。また教師の偉さがブランクだということが多くの国民の関心事になっている。学生

〈はぎ・ともろ〉

6月4日、福島原発事故損害賠償請求群馬控訴審の傍聴支援で東京高裁に行きました。門前集会には「全教」の旗もありました。被告である国・東電側の言い分はザクザク言うと「想定外の津波を予見できなかった」「不可抗力だから責任はない」というもの。じゃあ仮に不可抗力だとしたら謝罪もしない、損害賠償もしない、が通るわけ？ なんの落ち度もない被害者側がこうやって裁問起ころなければ何も償ってくれないの。ここでもこの国の品性が問われています。 9月3日 月号より

しいです。日々の授業はほぼ準備なしです。なぜなら時間が取れないから。毎回思いつきのような授業になってしまいます。子どもに本当に申し訳ないし、教育に未来を感じられない。日本の教育は教員の人生を犠牲にした上に成り立っています。いや成り立っているといえるのでしょうか。早急に教育現場の人員を増やし教員一人一人の仕事量を軽減する必要があると考えます。子どもは本当にかわいく、やりがいのあるステキな仕事です。続けたいと思っています。しかしこのままでは質の高い教育を提供するどころか、教員が死にます。助けてください。」 こうしたまにどう寄り添い応えていくのか、私達組合の真価が今問われているのではないかと。これは長時間労働の解消という課題にとどまらず、授業準備や教材研究の時間、子どもと向き合う時間をどう作り出すのかという教育そのものの課題だ。青年たちにとって教師という仕事が魅

「先生ふやそうキャンペーン」 南黒 2019年 7月25日時点で2300筆を文科省に提出しました。 まだ受け付けています。 教育現場に正規の先生をふやそうために、先生方もぜひ参加してください。 南黒 2019年 9.8<日>9時半~12時 利市尾上分庁舎 「発達障がいと私たち」 健生病院 小児科 安田すみ江先生 当日ぜひおいでください。申し込み不要。

力ある仕事であり続けられるかという、職そのものの問題でもあると思う。今職場でも地域でも全教への取り組みへの期待が高まり、かつてない対話と共同が広がっている。呼びかけている署名は12000人を超えた。これまで全教と無縁だった人たちも賛同の輪に加わっている。ぜひ全教のウェブページにアクセスしコメント欄を見てほしい。(後略)



〈西北・小〉

英語に関して、鯉ヶ沢町は各校に一人ずつALTが配

〈東青・小〉

一か月前に残業計画を出す

に悩んでいるが、先のこととはわかっていない。毎日の生活に支障が出ている。意味のないことをやっている。1日最長3時間まで、それ以上だと校長の許可が必要になる。時間前にみんなタイムカードを押して「私今幽霊だから」と言っています。仕事をしている状態を時間を守るためにタイムカードの意味がなくなっている。

〈北・小〉

部活について、子どもの健康面で考えると何時間やるのはどうなんだろう。スポーツに任せるも兼ねたいけれど、午後4時から7時半までやり続けている。その上土日もある。征。疲れをそのまま学校に引きずってくる。月曜日の子どもの様子はひどいものがある。先日も20分試合をして10分休んで20分試合を10試合やると言っている。2日間です。

県内の情勢

〈北・中〉

うちの学校は7月25日から8月20日まで夏休みだがそのうちの10日間、学習会。そのうちの3日間が午前4時間学習会で、午後に部活動。通常登校で

〈中弘・小〉

タイムカードは弘前市は今年からエクセルで打ち込むことになった。先生方が大変真面目。何日か前の退勤時刻を覚えてみんなに聞き、あつ時まで仕事してたと言

〈三・小〉

6年生が帰りの会を「今日はいい話があるので楽しみぞう」と言っている。EJとして何だろうと思っていたら、英語の塾だ。11人中8人が行っている。英語が保護者の中で週2回している。

置かれているので、ALTが授業を担当でほとんど任せられるので、担任は助かっている。五所川原になると掛け持ちのALTになるので、市内とか旧金木町市浦などは担任がすごく苦労している。

〈東青・小〉

学務課訪問があった時に学務課長が一人一人の勤務表を持って、私の勤務時間に対して何でこんなに超過勤務しているんだと校長に言ったとのこと。そのままだが、私は馬鹿正直にカードを押している。

〈北・小〉

いい話もある。いつもが運動会という時に所長訪問がある。先生方は片手にスリッパ手に上履いで学校に来る。何度か着替えるのが大変なほど大変だった。

下北は肥満児が6-1なので、朝も中休みも音楽をやって走らせている。80キロもある子を先生が後ろから追いかけて走らせている。

ある。去年は給食はただだが親の要求があり、今年は給食を出すことになった。先生方は夏季休業なのに授業の準備はしなければならない。部活動もやらなければならない。この学習会は全国学テのため。

Q: 5月の残業時間が100時間を超えて、校長から学校医との健康相談を受けるようにといわれましたが意味がありますか?
A: 学校医が産業医の場合には強い権限があります。
4月1日から労働安全衛生法が改正されたことを受けて、青森県立学校職員健康障害防止対策実施要綱と運用が改正されました。大きな変更点は、1ヶ月の時間外勤務が100時間、または複数月の平均が80時間を超えた職員は「職員からの申出」がなくても健康相談を受けることになった点です。産業医の権限も強化されました。職員の健康診断の結果を見たり、面接をしたりして「この人は来月から残業禁止、出張禁止などの意見書を書いて職場の人事労務担当者へ提出し

産業医に相談したい場合はまず、医師会に確認しましょう。

労働条件なるほど講座

〈南黒・小〉 南教組書記局 閉鎖について

6月30日をもって黒石市大町に設けていた南教組書記局を閉鎖しました。しかし活動は継続して行われます。今後は中弘支部との統合も見据えながら、今まで以上に活動の活性化に努めていきます。困ったことありましたら、県教組本部までどうぞ。017-7347279 (TEL)



- 業医でないときは、産業医の資格を持つ医師を自分で探して相談することになります。その際の費用は自己負担です。費用の規定はないので相談料は医師によってまちまちです。この点も医師会に電話した時に聞くといえます。各地区医師会の電話番号は以下のとおりです。
- 青森市医師会 0171-77711501
 - 弘前市医師会 01721-3212371
 - 八戸市医師会 01781-4313954
 - 南黒医師会→弘前市医師会に連絡してください
 - 西北五医師会 01731-3510059
 - 十三医師会 01761-5116923
 - むつ・下北医師会 01751-2315280

Q: 学校医が産業医でないときはどうすればいいですか?
A: 産業医に相談しましょう。
産業医は県内に1200名以上いるそうです。誰が産業医かはHPなどで公開されていませんので、各地区の医師会に問い合わせて下さい。もし、学校医が産

「高校教組新聞」2019年6月5日号